

令和6年度

決算特別委員会資料

(後期高齢者医療特別会計)

市民協働部保険医療課

令和6年度 後期高齢者医療特別会計の決算概要

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方と、一定の障害があり、申請によって認定を受けた65歳以上75歳未満の方が被保険者となる独立した医療保険制度です。制度の運営については、都道府県を単位とする広域連合が主体になり、国・県・市町が負担する公費（約5割）、現役世代の方が負担する保険料からの支援金（約4割）、被保険者が負担する保険料（約1割）を財源に、後期高齢者医療被保険者にかかる医療費の給付やレセプト点検、特定健診、葬祭費の支給等を行うものです。対象者は、令和7年3月31日現在、6,170人でした。

後期高齢者医療特別会計は、被保険者から徴収した保険料及び一般会計からの基盤安定繰入金（保険料軽減分）を広域連合に納付するもので、令和6年度の歳入決算額は、644,250,120円、歳出決算額は、625,486,598円で、歳入歳出差引残額は、18,763,522円になりました。

歳入における保険料収納率は、特別徴収が100.00%、普通徴収は99.09%です。また、保険基盤安定繰入金は、低所得者にかかる保険料の軽減分を補填するもので、令和6年度は軽減対象者数が4,233人、繰入額は121,153,505円です。この繰入金については全体の3/4を県が負担し、1/4を市が負担しています。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金として、保険料負担分503,799,612円（過年度保険料負担分と年度内収納分）、保険料軽減分（基盤安定負担金）121,153,505円で、合計624,953,117円を後期高齢者医療広域連合へ納付しました。

また、歳入歳出差引残額についても、次年度に過年度保険料等負担金として広域連合へ納付します。

決算状況

[歳 入]

項 目	決算額	構成比率	備 考
特別徴収保険料	304,520,365円	47.27%	徴収率 100.00%
普通徴収保険料(現年)	199,442,434円	30.96%	徴収率 99.09%
普通徴収保険料(過年)	990,428円	0.15%	徴収率 37.26%
保険基盤安定繰入金	121,153,505円	18.81%	
繰越金	16,803,491円	2.61%	
諸収入	1,339,897円	0.20%	
歳入合計	644,250,120円	100.0%	

[歳 出]

項 目	決算額	構成比率	備 考
後期高齢者医療広域連合納付金	624,953,117円	99.92%	保険料負担分 503,799,612円 保険料軽減分 121,153,505円
諸支出金	533,481円	0.08%	保険料還付金 533,481円
歳出合計	625,486,598円	100.00%	

◎歳入歳出差引残額

18,763,522 円

歳入根拠明細書

(市民協働部保険医療課) (単位:円)

決算書 ページ	款	項	目	節	収入済額	充当先事業	算定根拠
322 ～ 323	1	1	特別徴収保険料	現年度分	304,520,365	後期高齢者医療広域連合納付事業	調定額 304,520,365 徴収率 100.00%
			普通徴収保険料	現年度分	199,442,434	後期高齢者医療広域連合納付事業	調定額 201,279,546 徴収率 99.09%
				滞納繰越分	990,428	後期高齢者医療広域連合納付事業	調定額 2,658,113 徴収率 37.26%
	4	1	保険基盤安定繰入金	保険基盤安定繰入金	121,153,505	後期高齢者医療広域連合納付事業	県負担分 3/4 90,865,128 市負担分 1/4 30,288,377
	5	1	繰越金	前年度繰越金	16,803,491	後期高齢者医療広域連合納付事業	前年度繰越金
	6	1	延滞金	延滞金	0	後期高齢者医療広域連合納付事業	保険料延滞金
		2	保険料還付金	保険料還付金	1,339,897	保険料還付事業	過年度保険料還付金 (広域連合から還付)

【付属資料一覽】

- ① 後期高齡者医療特別会計事業実績報告書